

2025

3
March

十三公民館だより

発行 十三公民館

☎・Fax 91-1755

異世代交流
ソバ打ち体験教室

1月18（土）午前10時から十三公民館で異世代交流ソバ打ち体験教室を開催しました。

この事業は、親子、高齢者等のふれあいの場を設けることによって、人と人との絆を深め地域コミュニティの活性化を図るもので、この日は児童11名、保護者及び高齢者21名の合計32名が参加しました。

ソバ打ちの講師には、九頭龍工房 JA ひみそば道場の荒木稔さん（仏生寺）、上裕美さん（見



内)、干場芳美さん（柿谷）にお願いしました。小麦粉の混合割合や水分量などの説明を聞いたあと、3グループに分かれて混ぜ合わせ、水回し、ねりこみ、へそ出し、まる出し、四つ出し、切りまでみんな交替で行いました。

出来上がったソバは茹で担当が時間を図りソバが絡まないよう慎重に茹で上げていました。茹で上がったソバに差し入れのあった鴨肉を入れたつゆをかけ、美味しく一緒にいただきました。

参加した人は、以前から興味があり参加させていただきましたが、最初の水回しがソバづくりの基本作業と言うことが分かりました。市販のソバや一般食堂のソバではこんな食感は味わえない、参加して良かったと思いますと語っていました。

打ったソバの長さや太さの評価をしながら味わい。わたしの打ったソバは細かったのに、太いのがはいつてる等、わいわい言いながら楽しく味わいました。三世代交流事業として実践することができ、地域の絆を強くする事業として、今後も続けていきたいと思っています。



十三地区の史跡・伝承

神代テラヤシキ遺跡

遺跡は氷見市神代の山中にあり、氷見市と高岡市の境の尾根から一段北側に降りた尾根の上に立地している。標高は約百二十メートル。

現在、遺跡に行くには、氷見市蒲田と高岡市五十里を結ぶ県道の両市の境の峠で車を止め、尾根伝いに約七百メートル程歩かねばならず、最近では山仕事をする人もないため、荒れ放題の寂しい場所である。

しかし、地図を見ると、蒲田の西側の谷から遺跡を通して高岡市岩坪に抜ける道が記されており、数年前、林務課職員がジープで岩坪から蒲田へ通過している。

遺跡は高岡と氷見を結ぶ街道の一つに面しており、かつては比較的容易に行ける場所であったと思われる。

この遺跡付近は、通称「テラヤシキ」または「ダイアンジ跡」とも言われる場所である。

遺物は全て珠洲焼であり、また、付近には所々に、こぶしぐらいの河原石や砂利が見受けられ、墓地と推定される。

ホッチャヤシキ 七昼夜屋敷

神代字脇ノ田に、七昼夜屋敷と呼ばれる産堂があった。この堂はこの氏神様は妊婦が住み家で、お産するのを嫌い、これを犯す者がいると祟りをするというので建てられたものである。

妊婦はお産が近づくと必需品をもって参堂で生活し、お産をした。

産後、七昼夜を経てから家族のもとへ帰ったのである。

今は屋敷跡が残っているだけだが、かつては産野社という社と児塚があったという。

館の城跡

大浦字館ノ下に館の城があった。いつごろ、城主はだれかは不明だが、伝承によれば、上杉謙信が越中・能登攻略の際、攻め落としていったものという。

この山腹に、南方から東方に向かって、長さ百メートルばかりの貫穴が現存している。

3月の講座案内



講座名	曜日	実施日	時間	講師名
詩吟	月	3日・10日・17日・24日	10時30分～	平井静子先生
詩吟	月	3日・10日・17日・24日	13時30分～	大賀さよ子先生
手芸	火	4日・11日・18日	13時00分～	
茶道(保育園)	火	13日・20日	10時00分～	みどり保育園
三味線	木	7日・21日	19時30分～	山下茂昭先生
バランスボール	日	16日	10時30分～	浦野 司先生
オカリナ	金	14日・28日	14時00分～	尾崎春夫先生